





桃山南だより

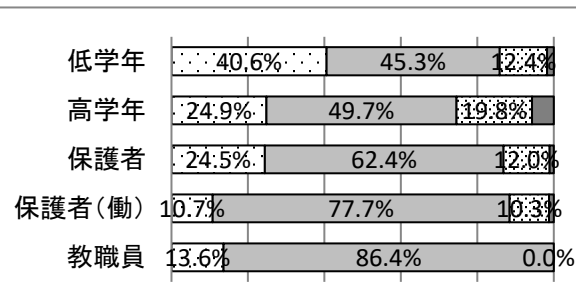
令和2年度後期学校評価版
京都市立桃山南小学校
校長 芝 原 理

早春の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のことと存じます。
平素は本校教育活動にご理解ご協力をくださり、厚くお礼申し上げます。
さて、先日行いました学校評価アンケートの結果についてご報告いたします。
「よくできている」「大体できている」とできると評価をしたものを今年度の前期分と比較して分析を行いました。
お忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございました。

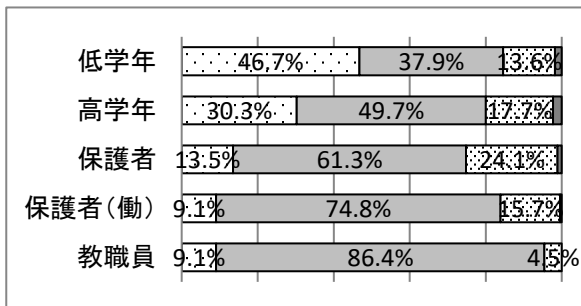
 よくできている  大体できている
 あまりできていない  できていない

【確かな学力】

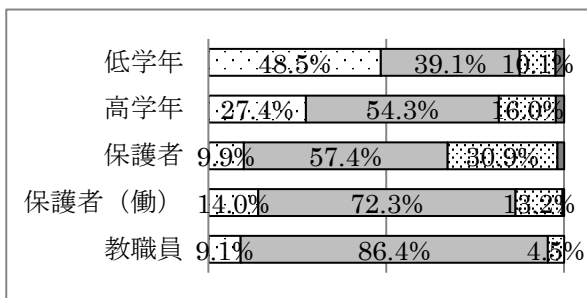
子どもは学習や学校行事などに
自分から進んで取り組んでいる



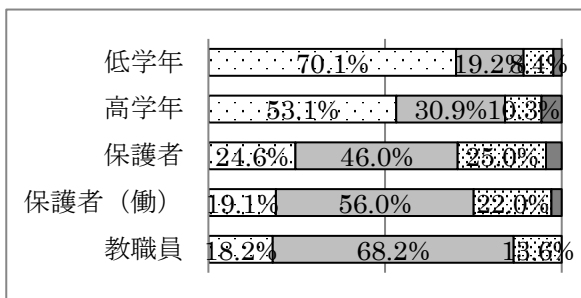
子どもはいろいろなことに目標をもって
あきらめずに取り組んでいる



子どもは人の話を最後まで
しっかり聞いている



子どもは家庭学習をしっかりしている

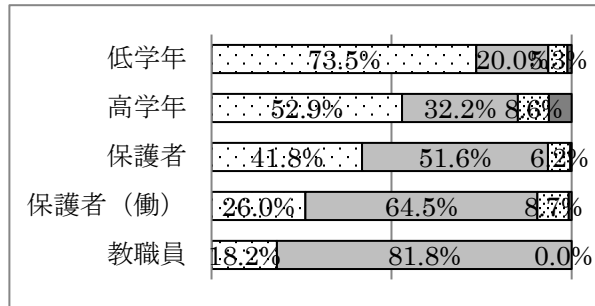


【確かな学力】に係る4項目の中で前期に数値が下がった「学習や学校行事に自分から進んで…」という項目は、低学年で1.3％、高学年で1.4％微増となり、「いろいろなことに目標をもって…」の項目の数値増と合わせて考えますと、再開された学校行事等で児童の前向きな姿勢が少しずつ戻りつつある状況です。コロナ禍の中でも、卒業、進級を前にした子どもたちが、より前向きな形で活躍ができる場づくりを継続できるようにと考えています。

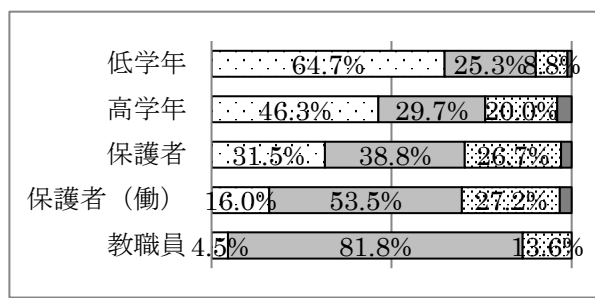
また、前期に比べて全体的に改善されている中で、数値を下げたものが「家庭学習をしっかりしている」でした。低学年児童と保護者、さらに教職員の3つでそれぞれ数値を下げ、児童と大人（保護者と教職員）の間で、「できる」と捉える肯定的な意見の乖離が最も大きくなっています。これは、児童に対する大人側の期待の表れと、児童と大人の目標値にずれが生じていることを表しています。今後は、学校が中心となって、家庭学習の目標や指針をより明確に発信し、児童や保護者の皆さんと共有できる目標を定めていきたいと思います。今後も家庭学習の進め方について、共に考えていただければ幸いです。

【健やかな体】

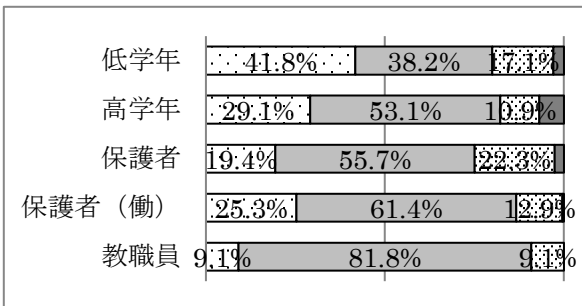
子どもはいつも元気で、
明るい気持ちで過ごしている



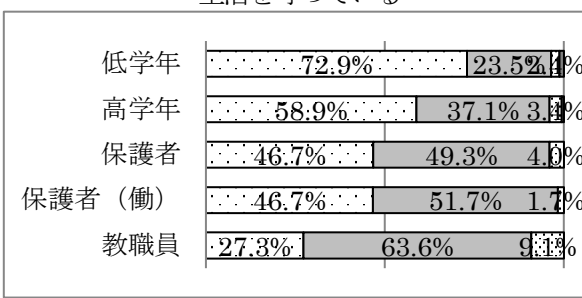
子どもはいろいろなスポーツや外遊びなどで
進んで体を動かしている



子どもは「早寝、早起き、朝ごはん」や
整理整頓、身の回りの清潔など、
衛生面で規則正しい生活を送っている



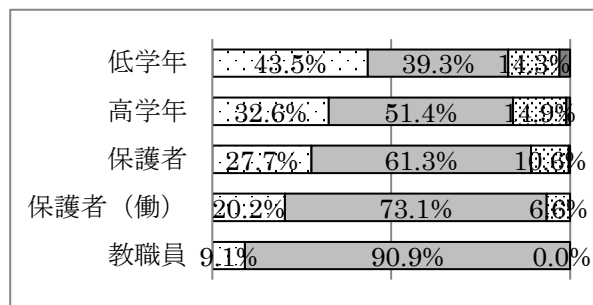
子どもは新型コロナウイルス感染予防のために、
手洗いやマスク着用、密をさけるなどの
生活を守っている



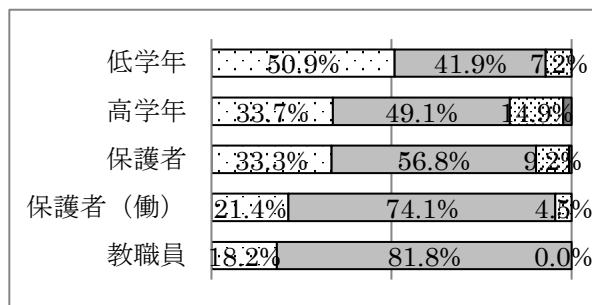
【健やかな体】の4項目では、低学年の「早寝、早起き、朝ごはん…」の項目で、前期比1.1％の微減となった他は、全ての項目で改善が見られました。特に「いろいろなスポーツや外遊び…」の体を動かしているかを問うた項目では、低学年で4.2％増、高学年で4.8％増となり、昨年度ほどまでは改善できませんでしたが、子どもたちが新しい生活様式の中で工夫しながら、体を動かすことを楽しんでいる様子が見て取れました。さらに「新型コロナウイルス感染予防のための…」項目では、前期以上に、子ども達はマスク等の対策を行っていると考えており、低学年では96.5％の6％増、高学年では96.0％の3.3％増と、変わらずに大変高い割合で、児童が感染予防を心がけた生活ができていることが分かりました。一方で同じ項目では、保護者は2.1％、教職員は9.1％減となり、児童と大人との意識の乖離が見られ始めています。大人は積極的に児童の感染症対策で気になる点を指導し、学校と家庭、放課後の過ごし方で協力できればと考えています。2度目の緊急事態宣言下で、新たに「黙食（もくしょく）」の取り組みや、各活動の規制や見直しが始まっています。改善し始めた児童の規則正しい生活習慣や運動習慣の機会を守るためにも、感染症対策へのご理解、ご協力を引き続きお願いいたします。

【豊かな心】

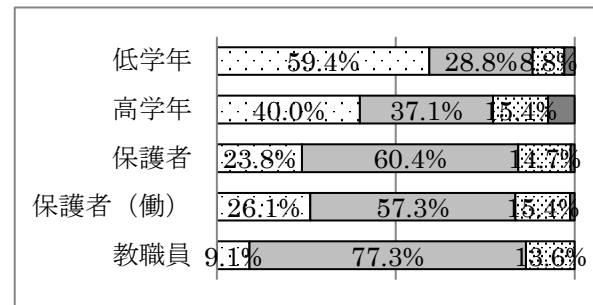
子どもは自分で良い、悪いを判断して、
その考えで行動している



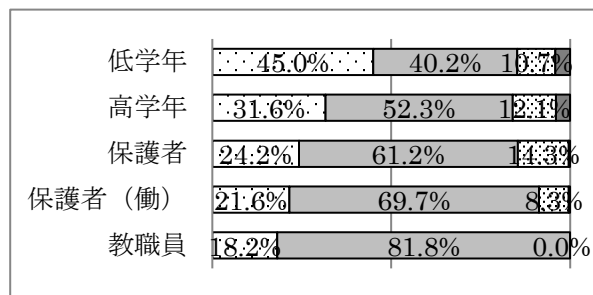
子どもはいろいろなきまりや
ルールを守っている



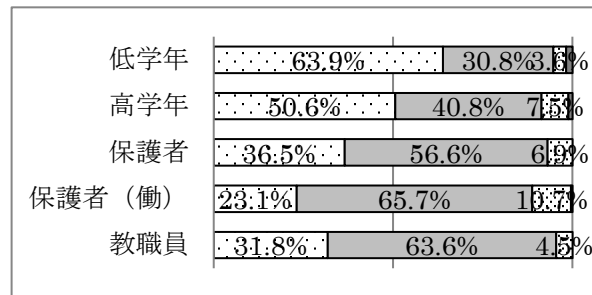
子どもは自分に良いところがあると思っている



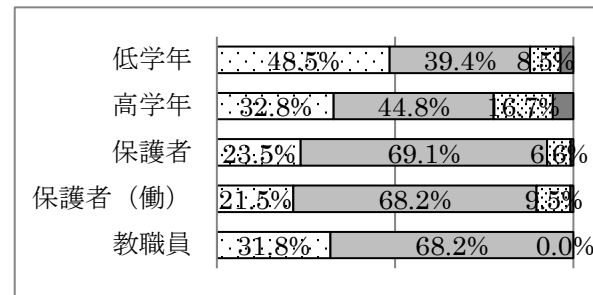
子どもは他の人の気持ちや立場を
考えて行動している



子どもは友達を大切にし、
誰とでも仲良くしている



子どもは自分の身の回りで
いじめが起こらないように努力している



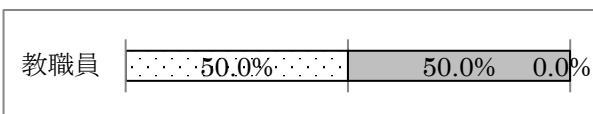
【豊かな心】に関する項目でも、ほぼ全ての項目が向上しており、大変うれしい結果となっています。その中で次年度の課題と考えている項目は、高学年で年々数値が下がっていた「いじめが起こらないように努力している」という項目です。幸い数値の低下は止まりましたが、低学年と高学年の差がこれまで以上に開き、10.3%となりました。高学年の子どもたちが、どのようにしていじめに立ち向かうべきか理解しながらも、友達関係等の様々な葛藤に心揺さぶられ、具体的な行動に一步踏み出せない。そんな心苦しさを感じているように思います。さらにこの項目と同じように変化している項目がありました。それは「自分に良いところがある…」の項目です。こちらでも年々数値が下がっていましたが、僅かながら改善が見られ、低学年で3%増の88.2%、高学年で1%増の77.1%となりました。これら両項目の関係はこの数年同じように変化し増減していますので、因果関係があると思われます。自己肯定感のある子どもはいじめに対して意見する力も、いじめにつながる自分の行動を省みる力もあるため、自己肯定感を育てることがいじめの防止にもつながると考えています。両項目の今年度の改善傾向には、これまで取り組んできた「人権の木」作成を中心とした、自己肯定感を高められる取組や声かけの実践が実を結び始めていると思われます。次年度も引き続き学校体制で、児童の自尊心や自己肯定感の向上を目標にしてまいりたいと思います。保護者や地域の皆様には引き続き、SNS上でのやり取りや、放課後の過ごし方など、目の届きにくい子どもたちの言動を見守り、本校の児童の心の育成にご協力をお願いいたします。

【自由記述より】

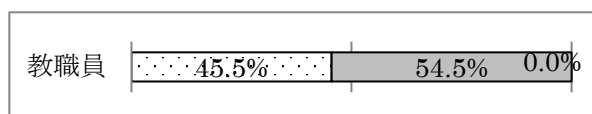
- 冬になって水が冷たいので手洗いがしっかりできているのか気になります。
- マスクをしている時に鼻が出ている子が多いのでできるだけ声かけをお願いします。
- 子どもが濃厚接触者となった場合の隔離中の2週間の学習はどのようにされるのか教えてほしい。
- 家庭の中やその周りでコロナウイルスの感染があった場合のガイドラインはあるのでしょうか？
- 手洗い後にアルコール消毒を徹底しておくほうが感染予防対策になるのではないのでしょうか。せめて食事前にはしたほうが良いのではないのでしょうか。
- 校内に消毒液は置かれていますか？
- 安心できるように声をかけていますが、子どもが必要以上にコロナを怖がっていないか心配です。
- 給食中の雑談には気を付けていただきたい。
- 緊急事態宣言下の登校は危険では？選択制も必要だと思います。気温が低い教室が気になります。
- 学校では、手洗いやマスクについては繰り返し指導をしています。校内には来校者用の消毒液を常備し、教室に給食当番等が消毒するためのものも常備しています。ただし、アレルギー等含めた安全面から児童が自由に使えるものは設置していません。給食中には新たに「黙食」を徹底しています。感染者が判明した場合はガイドラインに沿って対応しており、タブレット端末を使っての遠隔授業で学力の保証を行える体制をつくっております。参観等、学校の対応に多くの方がご理解をいただいておりますが、心配の声もございます。今後も様々な声に耳を傾けて、誠心誠意対応させていただきます。

【教職員】

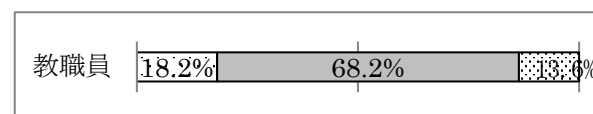
教職員が「学校いじめの防止対策基本方針」
の内容を理解し、組織的対応に努めている



児童・保護者の訴え（アンケート結果含む）や
相談内容を共有している



働き方改革を意識して、
業務改善に取り組んでいる



「学校いじめの防止…」と「児童・保護者の訴え…」で肯定的な意見が100%となり、各部が連携して組織的対応に努めることができます。今後も児童・保護者が安心できる学校と、働き方改革で教職員が力を発揮できる学校の両立をめざしたいと思います。